

2011年6月28日(火)

日経産業新聞 第10170号 6頁 掲載

## 住所の入力ミス 高精度で手直し

レムトス、サイトで

ソフト開発のレムトス（東京・葛飾、金子明代表）は、ウェブサイトに入力された住所データの不具合を、9割以上の精度で手直しするという新技術を開発した。ヒトによる確認作業の負担が軽くなるとして、通信販売会社などに利用を呼びかける。

開発したのは「Z変換エンジン」で、このほど販売を始めた。変換ミスのほか、余計な文字混入や文字が足りないといった入力ミスに対応する。このエンジンを採用したソフト「漢帝 住所クリーニングシステム」をパソコンに組み込むと、購入者が入力した住所データを読み取って自動訂正する。コールセンター事業者の利用も見込む。

価格は訂正件数に応じて変わる。5万件までなら1件当たり2円（税抜き）で別途、初期費用が30万円（同）かかる。